



CHARTERED SEPT. 11. 1953

Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2017 - 18 会長主題

共に行動 共に喜びを

あずさ部長	大野貞次 (東京西)	「継続は力なり・一歩でも前に・そしてあがこう」
東日本区理事	栗本治郎 (熱海)	「広げよう ワイズの仲間」
アジア地域会長	Tung Ming Hsiao (台湾)	“ Respect Y's Movement ” 「ワイズ運動を尊重しよう」
国際会長	Henry Grindheim (ノルウエー)	“ Let Us Walk in the Light—Together ” 「ともに、光の中を歩もう」

会長 上妻英夫 / 副会長 尾内昌吉 / 書記 浅羽俊一郎 / 会計 中村孝誠
 直前会長 金本伸二郎 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 星住秀一

2017年11月
**山手・サンライズ・たんぼぼ
 3クラブ合同例会**
 <ワイズ理解・ファミリーファストの月>

とき 11月21日(火) 18:30-20:30
 ところ 山手センター 101号室
 会費 1,500円
 受付 各クラブ担当 会計 中村孝誠(山)

第1部 セレモニー 進行 長津 徹(サ)
 開会点鐘・挨拶 山手会長 上妻英夫
 ワイズソング・モットー 一同
 聖書朗読・開会祈祷 尾内昌吉(山)

第2部 司会 たんぼぼ会長 小原史奈子
 山手寄席 入船亭扇蔵 師匠
 食事・懇親
 東京 YMCA にほんご学院紹介 小野実さん

第3部 司会 御園生好子(サ)
 ゲスト・ビジター紹介
 報告・連絡
 YMCA 報告
 ハッピーバースデー
 献金集計
 閉会挨拶・点鐘 サンライズ会長 江原修一
 集合写真

当番(第3班) 浅羽、金本、増野

11月 HAPPY BIRTHDAY
 中村孝誠さん 4日 福村佐和子さん 10日
 青鹿博明さん 25日 上妻英夫さん 30日

ワイズメンズクラブ モットー

『 強い義務感をもとう
 義務はすべての権利に伴う 』

“ To acknowledge the duty
 that accompanies every right ”

今月の聖句

万軍の主はこう言われる。
 エルサレムの広場には
 再び、老爺、老婆が座すようになる
 それぞれ、長寿のゆえに杖を手にして。
 都の広場はわらべとおとめに溢れ
 彼らは広場で笑いさざめく。

ゼカリヤ書 8章4～5節

10月報告

会員在籍数		14名
例会出席者	メ ン	12名
	メ ネット	1名
ゲスト・ビジター		2名
会員出席率		86%
ニコニコ	4,783円(累計18,682円)	

B F 国内切手 -g 外国切手-g



10月例会 報告

10月17日(火) 18:30-20:30

山手センター 101号室

出席者：上妻、浅羽、飯島、飯島(愛)、飯野、尾内、尾内(規)、功能、中村、星住
10名

ゲスト・ビジター

溝口昭成さん(卓話者・信友保険サービス(株))
松村宇久馬さん(諏訪町会)

2名

合計

12名

司会：中村さん

当夜は巣鴨信用金庫の関係会社で生命保険・損害保険の総合代理店である信友保険サービス(株)の溝口昭成さんから「知って得する保険」と題した卓話をいただいた。

また、2015年10月の例会で諏訪町会長の本田誠さんから地域活動について卓話をいただいた際にご出席下さった諏訪町会の松村さんをご出席くださった。

ハッピーバースデーは飯野さんをお祝いした。

<卓話要旨>

1、保険には、三つの分野がある。

第1分野(生命保険)：終身保険、定期保険、養老保険、年金保険など。

第2分野(損害保険—もの保険)：火災保険、自動車保険など。

第3分野(生命保険・損害保険にまたがる)：医療保険、がん保険、傷害保険など。

2、保険は必要か

加入目的がなければ必要はない。付き合いで入るのではなく、目的を考えて入る。

第1分野：相続・事業承継・退職金積立、残された家族の生活資金などに

第2分野：資産の保全(家、自動車)に

第3分野：長期入院、がん治療、ケガに

3、支払い事由の請求例

第1分野：退職金、葬儀代、入学金、満期金

第2分野：火災で1部屋全焼、雪で屋根が破損、強風でガラスが割れた、漏水で階下の天井を破損させた(マンションに多い)も火災保険で支払われる。

第3分野：自転車で人に衝突しケガをさせた(自転車保険がある)

自動車で追突してしまった

がんになった、

歩行中、人にぶつかって転倒した

自転車で転倒した

4、支払いを断られた例

第1分野：契約1年以内の自殺(最近3年)

第2分野：雨もり・風災が20万円未満、原因不明のガラス割れ

第3分野：申込時に既往症があった。

がん保険契約の2か月後にがん発症

.....

卓話の後、上妻会長が、EMCをどう進めるかについて、特に会員増強について語った。山手クラブはみんなおとなしい。昔は家族キャンプが盛んだった。国際性もあったが、今はゼロである。ブラザークラブとの交流や海外との交流も行うとか、目新しいものを作って、人が集まるようにしたい。

・・・・・・・・・・・・・・・・

<元気カード>10月例会での書き込みからです。

- ・溝口昭成さん 出会いに感謝します。
- ・上妻さん 小生も高齢であるため保険のお話を参考になった。
- ・浅羽さん 奥歯の治療が毎週進んでいます。11月中には終わるかもしれません。
- ・飯島愛子さん 16年生きた我が家の愛犬が天国へ行きました。

ヨルダン会 報告 (10月)

日時： 10月25日(水) 14:00~16:00
場所： 山手センター 館長室
出席： 浅羽、尾内、中村、機能 4名
議題

1、11月 3クラブ合同例会

11月21日、山手センター 101号室
「山手寄席」

落語 入船亭扇蔵(せんぞう) 師匠
会費 1,500円(幕の内弁当つき)
山手ワイズの分はクラブ会計から支出。

2、会員増強の件

「会員増強計画ワークシート」について、話し合い。その結果を尾内さんがまとめて、あずさ部会員増強主査に送る。

3、12月例会は、これまで山手センター会員クリスマスに合流とし、第3火曜日を「拡大ヨルダン会」と位置付けていた。しかし、今回は拡大ヨルダン会を「忘年例会」とみなして、外部にも積極的に呼びかける。また、元東京Yの職員でレク指導のプロである木塚敏夫さんを招いて楽しいプログラムにする。

4、来年3月の例会には澤内隆メン(厚木クラブ、帝国書院地図普及アドバイザー)を招いて、日本人の生活文化の話聞くことにしたい。

5、その他 浅羽さんは1月にジュネーブに行く予定。

おたより (10月)

<上妻英夫さん>「故郷夜(ふるさとや) 臥し待ち月の美しき」望月(十五夜)から4日目が臥し待ち月、平安貴族は月への憧れから色々名称を作り、思いふけた様です。小生も19日月は全く星も見えないほどの冴えわたる夜空の月に魅了されました。

<飯野毅与志さん> 10月5日(木)夜から9日(月)まで大阪と和歌山に行って来ました。和歌山ではネコが駅長(貴志駅)をやっている貴志川線にも乗ってきました。

<増野 肇さん> 7月に私より元気で卓球をしていた妹が亡くなり、寂しくなりました。私も覚悟をしないといけないと考えています。

<鈴木田通夫さん・裕子さん> (OB) 頌主、不純な天候もやっと秋らしく落ち着いて来たのでしょうか。いつもブリテン送って下さり有難うございます。上妻会長のもと相変わらず皆様ワイズダムのためにご活躍されておられますこと、感謝申し上げます。

こちらでは、10月に入り運動会(ゲームのような)、絵、写真、手芸品などの展示会、全施設(180名+職員・家族・近隣の方々を含め)の草加KG祭、消防訓練、音楽会、茶道の会、施設の職員との協力のため毎月委員会(私書記)があり、ここケアハウスに来てゆっくりしたいと思っていましたが、忙しいというより次は何かと落ち着かない生活に組み込まれています。

私どもの知り合いまた間接的な関係者が見学に見え、入りたいの声を頂いていますが、皆さん元気で部屋は空かない状態です。在主。

会費の納入は、会計(中村君)への納入または下記銀行口座への振込みをお願いします。
三菱東京UFJ銀行 高田馬場駅前支店
普通 3548431「東京山手ワイズメンズクラブ」



第21回あずさ部会に臨んで

浅羽俊一郎

今年度のあずさ部会が10月21日(土)、11:30から15:30まで開催された。今回の会場は神楽坂通りから横丁に一歩入り、地蔵坂を上った日本出版クラブ会館。ホストクラブは東京西クラブ。季節外れの台風が接近する中、ここに82名のワイズメンが参集した。

第一部 部会は神谷メンのアットホームな? 司会で進められた。栗本理事はじめ東日本区役員、他部のメン、遠くは西日本区の熊本にシクラブの亀井純子会長、佐藤通彦メンが出席された。開会祈祷、会長挨拶に続いて大野部長があずさ部の現勢176名を巻き返すために新クラブ設立の必要を訴え、栗本理事からは区の強化のために各クラブ新入会員を2名増員の要請があった(国際憲法改正の説明については理事通信参照)。山梨YMCAの露木総事は新会館建設計画の話と、オール・ジャパンで進めている新ブランドと「ポジティブ・ネット」普及についての協力依頼がなされた。



↑百歳長寿を目指して

講演は西クラブのチャーターメンバーで現役医師の竹内隆メン(91歳)が「誰でもなれる百歳長寿を目指す 平成の養生訓」と題してアンチエイジングの取組みについて一立ったまま!一話された(写真)。また、ご自身で執筆作成された同題の小冊子を出席者全員がいただいた。私たちの多くが100歳になれると、そのヒントとして今や世界最長寿を誇る香港人が毎朝欠かさずに食する鶏がらスープを紹介された。

全員の記念写真は満員電車さながらにぎゅうぎゅう詰めで撮られたが、皆さんの表情を見るのが楽しみだ。

第二部 懇親会では河原崎和美メンの元気な司会のもと楽しく賑やかに会食、その後は珍しい琉球舞踊(宮城洋子琉球舞踊研究所のメンバー)を大いに堪能した。クラブ紹介、アピールに続いて「あずさの道」(あずさ部部歌)斉唱。浸透するにはまだ時間がかかりそうだ。

なお、第1部での席上献金は合計54,529円で、東日本区の九州北部豪雨緊急支援募金と東日本大震災復興支援募金に捧げられた。

私は部長として昨年全クラブを訪問し多くのメンと知り合えた。そのお陰でこの部会は知己に囲まれている居心地良さを味わえた。もう一つ嬉しかったのは西クラブの女性メンバー一人ひとりが例会以上に輝いていたこと。色々なヒントと出会いを得た21回目の部会でした。

(因みに、本会館スタッフによると会館までの登り坂が夏場は高齢者にこたえたとのこと。秋で良かったです。)

山手クラブ出席者: 上妻、飯島(愛)、尾内(昌)、尾内(規)、功能、中村、増野、浅羽 8名



↑↓ 懇親会場で





国際協力一斉街頭募金の喜び

浅羽俊一郎

先月、ジュネーブから急ぎ帰国したのは9月16日に予定されていた東京YMCAの年に一度の国際協力一斉街頭募金に参加するためでした。

(とは言え、風邪をこじらせ、2時間で早引き。)以前は渋谷駅周辺で実施していましたが長期的な再開発工事で人の流れも変わり、何よりも募金しやすいスペースが確保できなくなり、一昨年から新宿駅で募金している次第です。

当日は午後1時から5時まで新宿駅の東口、西口、南口で活動しました。雨も降りましたが、子どもから、リーダー、専門学校生、留学生、職員、父兄、ワイズメンまで延べ186名のボランティアが協力してくれました。

バンラディッシュの青少年支援をテーマにしました。参加者を事前に動機付けし、呼びかけへの通行人の反応を観察し、そこから何かを学ぶ心がけてもらい、また偶然同じチームに入った者同士が交流出来るよう計らってもらいました。お陰さまで**募金額は21万円**を越えました。結構な数の外国人ツーリストが特に子ども達の持つ募金箱にお金を入れてくれました。

さて、参加した子どもやユースには、一人ひとりに名前入りの礼状カードを配りましたが、その中に私の強い希望で街頭募金をする動機付けを3点挿入してもらいました。

「(1) 志が同じ他国のYMCAの青少年育成活動を支援する、(2) 活動に参加した青少年が世界に目を向け、助け合うことを学んでもらう、(3) 広く都民に平和と共存のメッセージを伝える。 どうでしょうか。

国際協力募金は通年の募金活動ですが、中でも一斉街頭募金は日頃活動拠点を異にする会員が、一つとなって声高く募金を呼びかける大切なイベントです。新宿駅前を行き来する何万人の通行人に半日でYMCAをアピールすることが出来るのです。一方、募金額は大切です。より多くの青少年や若手職員がグローバルな課題に関心を向けさせるにはもっと資金が必要なのは当然です。

もっともっとワイズメンに一斉街頭募金に参加してもらいたいです。

(今年度街頭募金実行委員長)

.....

YMCAニュース

1. 北海道じゃがいも・かぼちゃ販売終了

毎年恒例の北海道YMCAを支援する十勝ワイズメンズクラブのジャガイモ・かぼちゃが無事販売しました。購入した皆さんから「とても美味しかった!」と感想が寄せられています。

10月7日(土)に北海道からトラックで納品され、山手学舎の舎生も搬入を手伝いました。売り上げは北海道YMCA・東京YMCAの障がい児プログラムへの募金となります。

今年も世田谷ワイズの小原さんに納入手続き等、サポートいただきました。

ありがとうございました。

2. 九州北部豪雨緊急支援募金のご報告

上記募金は、山手コミュニティーセンター10月半ば時点で17,298円が寄せられました。

頂いた募金は、日本YMCA同盟、西日本地区YMCAを通して、被災地復旧ボランティア(ボランティア派遣・避難所支援活動等)・子どもたちへのケアプログラム(複数年にわたるキャンプの実施・キャラバン訪問等)などに大切に用いさせていただきます。

3. 山手会館 古本市

毎年この時期になるとロビーで古本市を開催しています。

売り上げは経済的に支援が必要な子どもたちのための「フレンドシップファンド」に用いさせていただきます。ぜひご協力ください。

(星住)



山手バザー 開催 10月15日(日) 星住秀一

事前の準備ではボランティアと職員が協力して取り組みました。今年も昨年に引き続き山手センターの活動を支えるユースボランティアリーダーの有志が近隣のお店にPRやチラシ掲示に奔走してくれました。私も一部同行しましたが、リーダーたちの丁寧な説明と熱心さに心が熱くなりました。またユースボランティアリーダーOB・OGの出店もあり支援の輪が広がりつつあることを実感しています。

今年のバザー実行委員長は、長年に亘って務めて下さった蒔田敏雄さん（会員・リーダーOB）から昨年実行副委員長を務められた白石潤一さん（会員・プール参加保護者）にバトンタッチされました。蒔田さんの長年に亘るリーダーシップに心から感謝をいたします。白石実行委員長のもと委員会が今年も組織され、活発な意見交換がされました。

当日は、小雨の降る肌寒い中での開催となりました。来場者数が減るのではないかと心配しておりましたが、バザー開始時間が近づくと玄関には列もでき、例年通り多くの方が来館され、活気のある温かなバザーとなりました。山手センターに

縁のある懐かしい方々と再会する場面も多くあり、地域の方々の交流の場所としてはもちろんのこと、年に一度のホームカミングデーとしての役割も大切にしていきたいと感じました。

今年も地域の皆さん、ワイズメンズクラブ、会員、プログラム参加者、リーダー、高等学院・ホテル専門学校など山手センターに縁のある方々のご支援により、バザーを無事に終えることができました。バザーの収益595,077円は、東日本大震災支援、熊本地震支援、国際協力募金（バングラディッシュ支援）、障がい児プログラム支援、フレンドシップファンド（プログラム参加費支援）、ユースボランティアリーダー養成募金、山手センター施設整備に用いさせていただきます。ありがとうございました。

< 付 記 >

山手クラブからは今回も、ジャガイモを山手学舎のカレーのために10Kgと抽選会の景品として10Kgを出しました。抽選会の分は小分けにし、賞品としました。

また、例会には出席できない青鹿さんが元気にバザーの応援に来られたのは大変嬉しいことでした。青鹿さん（右端）と一緒に撮りました。

（中村）

